

佐鳴湖公園



地域の概要

浜松中心部から 4km。市街地に隣接した佐鳴湖の周りは、市民の憩いの場となることを目的に総合公園として整備されてきた。一周約 6km のジョギングコース、自然散策路、漕艇場といった施設や「ひょうたん池」「根川湿地」といった多くの動植物が生息しているスポットも見られ、週末には、ジョギングや散策を楽しむ人で賑わいを見せている。

景観形成の特徴

佐鳴湖公園は季節によって異なった表情を見せる。公園内の「ひょうたん池」「根川湿地」では、春は桜、秋は紅葉が公園を彩り、来園客を楽しませている。また、約 100 種類の野鳥を観察することができ、トンボや蝶など多くの昆虫たちも生息している。このような美しい景観を見せてくれる佐鳴湖だが、かつては「日本一汚い湖」と呼ばれていた。

景観形成の活動

佐鳴湖を多くの人に親しんでいただきたいという思いから、佐鳴湖地域協議会を結成し、官民一体となり佐鳴湖の環境整備に取り組んでいる。年数回、小中学生や近隣住民と一緒にヨシ刈りや水質調査を行った結果、6 年連続ワースト 1 から脱却し水質改善につながった。このような取り組みにより、地域全体で環境を守っていこうという機運を高めている。



学生に使用される漕艇場



表情豊かなひょうたん池



地域住民とヨシ刈り